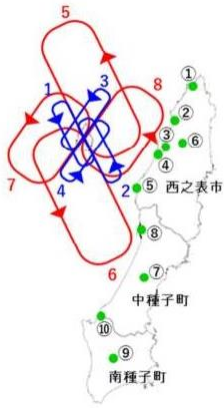


～馬毛島だより～

(第3号)

馬毛島周辺デモフライト



馬毛島周辺において、防衛省によるデモフライトが行われ、宮崎県新田原基地所属の航空自衛隊F-15戦闘機が島周辺を飛行しました。

これは、昨年10月から防衛省が行った住民説明会等で、「実際に馬毛島周辺で戦闘機を飛行させて音の状況を知りたい」との意見・要望が出されたことに基づき実施されたものです。

デモフライトの際には、防衛省が音の大きさを測定しており、公表された速報値は以下のとおりです。

【実施日時 ※〈 〉内は戦闘機の数】

5月16日(日)

(1)15:30頃～16:30頃(5機)

(2)18:00頃～19:00頃(2機)

【風向・風速】

(1)概ね南南西、約9m/sを観測

(2)概ね南南西、約6m/sを観測

場所	音の状況 (瞬間的に確認された音の最大値)	
	(1)	(2)
①浦田地区(西之表市)	52デシベル程度	49デシベル程度
②大崎地区(西之表市)	63デシベル程度	60デシベル程度
③市街地(西之表市)	52デシベル程度	54デシベル程度
④合同庁舎(西之表市)	68デシベル程度	66デシベル程度
⑤住吉地区(西之表市)	60デシベル程度	55デシベル程度
⑥平田地区(西之表市)	58デシベル程度	59デシベル程度
⑦市街地(中種子町)	47デシベル程度	確認されず
⑧浜津脇地区(中種子町)	確認されず	49デシベル程度
⑨市街地(南種子町)	確認されず	確認されず
⑩小平山地区(南種子町)	確認されず	確認されず

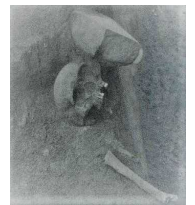
椎ノ木遺跡



椎ノ木遺跡は、馬毛島の南西の砂丘上にあります。昭和52年に、貝殻や骨片を含む層があることが指摘され、昭和54年、市教育委員会が主

体となり発掘調査を実施しました。

調査の結果、埋葬用の穴が確認され、人(弥生終末期と推定・成年男性)の頭骨と右肩甲骨・右上腕骨が発見されました(右図)。また、副葬品として多量の貝製品、水晶1個が出土しています。



貝製品のうち25個は連結したまま出土しており、首飾り等としてつながっていたと考えられています。同遺跡には、この時代の人の広がりを知る上で貴重な史料が存在する可能性があります。

環境アセス方法書

への意見書等の動き

馬毛島基地(仮称)建設事業に係る環境影響評価方法書についての意見概要書が九州防衛局のホームページで公開されています。4月1日までの間に557通の意見書が防衛省に寄せられているとのことです。

4月30日に、意見の概要を記載した書類が鹿児島県知事に送付されており、その後90日の間に県知事は、環境保全の見地から書面で意見を述べることとなります。県知事が意見を述べるまでの間には、市長の意見を県知事へ伝えます。

■問い合わせ先
市役所企画課馬毛島対策係
☎ 22-1111内線213